

1. 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成25年4月15日

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4670105149
法人名	有限会社 パッション
事業所名	グループホーム かすが
所在地	鹿児島県鹿児島市春日町8番25号 (電話) 099-248-1058
自己評価作成日	平成25年3月15日

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	http://www.kaigokouhyou.jp/kaigosip/Top.do?PCD=46
-------------	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	NPO法人自立支援センターかごしま 福祉サービス評価機構
所在地	鹿児島県鹿児島市星ヶ峯四丁目2番6号
訪問調査日	平成25年3月29日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

心身共に穏やかな生活を送って頂けるように、家族のように寄り添いながら、人としての尊厳と活力の向上を大切にしています。「出来ること」「出来ないこと」を見極めて、協働しながら過ごしています。入居者の皆様楽しみである、食事に力をいれています。旬な食材、栄養のバランス、好みの献立を考慮し提供しています。口腔体操、口腔ケアの介助に力を入れて、食事をより美味しく召し上がっていただけるように努めています。春日神社、若宮公園等近くに神社、公園等の地域資源も多数あり、地域の行事に参加し地域との交流にも力をいれております。季節毎に行事を行い、ホーム内の設営も季節感のあるものを取り入れています。入居者様の健康管理にも気を配り、日常生活状況の把握(食事量、水分摂取量、排泄確認、バイタルチェック)を毎日行い、主治医と連携を図っています。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

- ・当事業所は、周辺に神社や交番・保育園・小学校・店舗などがあり、散歩や買い物際には、地域住民と挨拶や会話を楽しむなど、地域とふれあいながら生活している。
- ・町内会に加入し、地域交流を積極的に進めて、認知症対策や介護支援の情報発信の場となっている。
- ・玄関はオープンになっており、家族や近隣住民・知人等が立ち寄り、馴染みの関係や社会とのつながりが途切れないように支援している。
- ・運営推進会議や家族に対するアンケートによる意見や要望は、職員で話し合い運営に活かされている。
- ・管理者は、職員と話しやすい環境を整え、意見や提案を積極的に聞き運営に反映させている。職員は資質向上を目指し、研鑽に励んでいる。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	入居者、家族の想いを尊重し、パーソン・センタードケアを方針とした理念を掲げ、毎朝唱和することと共に、実践できるように意識付けをしている。	地域との関連性を重視した独自の理念を、玄関や事務室に掲示し、朝礼時に唱和し常に意識づけを行い、実践に繋げるようにしている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	地域の行事に参加したり、散歩や買い物等の外出時に交流が持てるように心がけている。	町内会に加入し、回覧板等で地域と情報のやり取りがあり、地域の行事にも積極的に参加している。散歩や買い物の際には、挨拶や会話を楽しんでいる。また幼稚園児や小・中学生との交流、ボランティアの受け入れなども行い、地域との交流を大切にしている。	
3		○事業所の力を生かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている。	地域での行事に参加したとき等、地域の方々に認知症の方への配慮をしていただいている。		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	概ね2カ月に一回運営推進会議を開催し、家族や地域包括支援センター職員、民生委員に出席いただき、ホームでの活動報告、研修報告を中心に様々な話し合いを行い、意見を頂いている。	会議は定期的に行っている。家族代表や地域包括支援センター職員・民生委員・消防分遣隊員・住民代表等が参加し、事業運営や外部評価の結果の報告を行い、そこで出された意見をサービス向上につなげている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。	鹿児島市長寿支援課、介護保険課の方に指導を頂いている。	市の担当者とは、利用者のプランの見直しの相談や情報交換してアドバイスをもらっている。毎年、集団指導研修に参加し運営のあり方などを学び協力関係を築いている。	
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	毎月、職員会議の際に身体拘束廃止委員会を開催し、日々のケア振り返りを行なっている。内部研修を通して職員一人ひとりが身体拘束について理解をしている。	身体拘束廃止マニュアルを基本に、毎月勉強会を実施し、職員の共通認識を図っている。昼間の玄関は施錠せずに職員間の連携で安全な暮らしを支援している。身体拘束ゼロに取り組み、言葉かけにも配慮してケアに取り組んでいる。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	毎月、職員会議の際に高齢者虐待委員会を開催し、日々のケアの中に言葉による虐待等ないか確認を行なっている。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。	成年後見人制度の外部研修に参加し、学ぶ機会を設けている。必要のある方がいらっしゃた場合は活用できるように支援を行う。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
9		<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。</p>	<p>契約時は時間をかけてゆっくりと説明を行なっている。ご家族に対して、重要事項説明書及び契約書の一項目ずつ質問等ないか確認を取っている。</p>		
10	6	<p>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。</p>	<p>入居者、ご家族から意見、要望をもらえる体制として、出入口への意見箱の設置、相談苦情受付者の電話番号の掲示、運営推進会議の開催を行なっている。</p>	<p>利用者からは、日常生活の中で、何でも言ってもらえる関係作りを推進し、話す機会を作っている。家族からは、運営推進会議や家族会・面会時に意見や要望等を聞いている。玄関に意見箱も設置している。出された意見等は職員で話し合い運営に反映させている。</p>	
11	7	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。</p>	<p>管理者との個別の面談を行なっており、職員の意見を反映できる体制がある。</p>	<p>管理者は職員会議などで職員の意見や提案を積極的に聞いている。また、個別面接を行い、思いを聞いている。職員間でもお互いに何でも言える関係ができており、意見は運営に反映されている。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
12		<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。</p>	<p>職員一人ひとりのニーズに応えられるようなシフトの調整、資格による手当、他の介護施設での研修等、向上心や、やりがいを持てるように努めている。</p>		
13		<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>職員個々が自己研鑽できるように、研修の情報提供をし、希望者には参加してもらい、内部研修で報告し実践できるようにしている。</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>系列のグループホームの管理者と、月1回交流する機会があり、情報交換、勉強会を行なっている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	サービスの開始以前、又は開始時の早い段階で本人と面談し、希望や不安等の思いをを傾聴し安心感を持てるように努めている。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	サービス開始時よりご家族となるべく意思疎通を図り、希望や要望、不安等を傾聴し、理解を深め信頼を得られるように努めている。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	サービス開始時より先ず、本人やご家族が「どうしたらいいのか」を知り、必要なものから順次対応している。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	レクリエーションや生活リハビリを通し、共に教え、又教えて頂く関係があり、暮らしの上で対等の関係は築けている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	家族との連携を図りながら、本人と家族の双方の想いを理解し、絆を大切にしながら共に本人を支えていく関係作りに努めている。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	家族や友人、知人の面会、又外出や外泊を通して馴染みの方々や場所との関係が途切れないように支援に努めている。	家族や知人・友人の面会が多く、他の利用者とも顔馴染みの関係ができている。家族の協力でデパート・カラオケ・墓参り・美容室・自宅訪問等、馴染みの人や場との関係が途切れないように支援している。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	毎日の食事、お茶、レクリエーションを通して関わりを持ち、皆が連帯感を持てるような支援に努めている。		
22		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	契約が終了しても、関係が断ち切れないように、手紙のやり取りを行ったり、他施設、病院へ面会に行っている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	パーソン・センタードケアを方針としており、一人ひとりの独自の意向の把握に努め、その人らしさを大切にしている。	日常の関わりの中で、思いや意見・要望等、いろんな場面で話を聞いている。困難な場合は、家族や関係者からの情報を得ながら、日々の関わりの中で言葉や表情などから思いや意向の把握に努め、本人中心に支援している。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活暦や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	本人や家族、その他からの情報収集により、把握に努めている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	毎日、共に接しながら、又状態観察を行い、現状の把握に努めている。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	定期的なカンファレンスや職員間でのミーティングを通して、本人、家族、関係者の意見を聞き、介護計画を作成している。	本人や家族・必要な関係者と話し合い介護計画を作成している。日々の気づきノートから意見を吸い上げ修正内容は個別ポストに入れる方法を取りケアの共有統一をしている。毎月のカンファレンス、6ヶ月毎のモニタリングを実施し、現状に即した介護計画を作成している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	個別記録は毎日記録され、職員間で情報共有できており、意見の交換をしながら実践、見直しを行なっている。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々にも生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	月に一度ミーティングを行い、入居者個別の話し合いをしており、ニーズへの対応を検討、実践している。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	地域の行事に参加したり、ホーム内外での行事でボランティアによるイベントを楽しんでいる。入居者も一緒に参加できるように配慮している。		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	入居時に家族と相談の上、かかりつけ医を決め、月に一度の受診を行い、特変、不調時にはその都度受診を行い家族への連絡、報告を行なっている。	本人・家族の希望するかかりつけ医の受診を支援している。家族支援ができない時は職員が受診支援している。24時間受診できる医療連携体制があり安心して医療が受けられる。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	<p>怪我やバイタルサインの異常時には、協力病院の看護師に支持を仰ぎ、状況に合わせて病院受診を行う等している。</p>		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	<p>入院先の医療機関へホームでの身体状況の報告を行い、定期的に入院先へ面会に行き、本人との面会や病院での近況報告をもらい早期退院を目指している。</p>		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>本人や家族、主治医と相談を行い終末期のあり方について考えている。早い段階では本人や家族も判断できないこともある。終末期のあり方については今後も本人や家族と密に相談をし、支援していく必要がある。</p>	<p>重度化や終末期に際しては、事業所が取り得る対応について本人と家族に説明している。事業所でできる事を考え、良いケアにつながる取り組みを検討中である。</p>	
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	<p>事故が起きないように日々細心の注意を払い介護に従事している。又、緊急時対応等、研修を行い実践できるよう個々でも訓練している。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	消防署の協力を得て、昼夜想定で防災訓練を行なっている。職員、地域住民、家族への緊急時の応援の協力を得ている。	年2回消防署の指導のもと、昼夜間想定避難訓練を実施している。さらに定期的に自主訓練を行い職員の意識向上に努めている。安全対策マニュアルを作成し、防火設備も整っている。近隣在住の職員や地域住民との協力体制ができている。災害時の備蓄もある。	
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	相手の立場に立って言葉使いや声かけを工夫し、対応している。	利用者の人格を尊重するとともにプライバシーに配慮したケアに努めている。特に、言葉の使い方に配慮し、利用者には制限をかける言葉や他者が聞いて不快となる言葉は常日頃から気を付けている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	本人の希望や好みを把握。表出しやすい雰囲気作りを心がけ、自己決定できるように支援している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	食事や入浴の時間はその日の体調や気分を考慮、入居者のペースを大事に優先している。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している	定期的な訪問美容室又は、美容室まで外出し、個人の好みを直接伝え、思うとおりのヘアスタイルを楽しまれている。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	野菜の下ごしらえ、配膳、下膳などできるところは参加を頂き、食事が楽しめるように、好物を献立に取り入れている。	利用者の希望に添った献立を工夫している。また可能な範囲で準備や片づけを職員と一緒にやっている。誕生会や行事食・ピクニック弁当等、食事が楽しみなものになるよう工夫している。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	献立には多くの種類の野菜を使用するように心がけている。水分、食事量は毎日記録を取っている。又自己摂取困難な方は介助にて摂取頂いている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
42		○口腔内の清潔保持 口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後の歯磨きの声かけ、見守りを行い、必要に応じて介助している。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	排泄チェック表を付けることで排泄パターンをしっかりと把握し、トイレ誘導を行なっている。自立されている方には声かけを行なっている。	個々の排泄パターンを把握し、自尊心に配慮しながらトイレでの排泄を大切にしている。座位姿勢保持ができるかどうか、声かけのみでトイレ排泄ができるか、トイレまで誘導するとできるのか等、トイレ排泄の自立を支援している。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	繊維質の多い食品を献立に取り入れ、果物、ヨーグルト、牛乳などを取り入れている。水分摂取の声かけを行い、便秘予防に努めている。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	週3回の入浴を行なっているが、その方の都合に合わせて入浴日をずらす等柔軟に対応している。	週3回の入浴が設定されているが、希望があれば毎日でも、好きな時間に入浴ができる。入浴をいやがる利用者には、職員間で連携し、入浴を楽しめるような工夫をしている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々の状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	無理に就寝時間を設けず、個々の好きなようにして頂いている。日中、散歩やレクリエーションを行い、入眠しやすい状況を作るように心がけている。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	日付、名前を服薬前に声出し確認をしている。又、個々の薬の作用、副作用を理解している。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	個々に出来ること主体に、お手伝いをして頂いている。買い物、ドライブ等にお誘いしている。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。	出来るだけ希望に添うように支援している。職員で対応出来ない場合はご家族にも協力を頂いている。	一人ひとりの楽しみごとに合わせて、散歩や買い物・近くの公園に出かけたりしている。家族や友人の協力で外食やカラオケ・墓参にも出かけている。事業所主催の花見などは、家族にも案内し本人と一緒に楽しむ支援をしている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>近所のスーパー等に買い物にお連れし、ご自分で希望される物を購入頂いている。</p>		
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している</p>	<p>ご家族との電話の取次を行っている。携帯電話を使用される入居者もお使い方等の支援をしている。手紙を書く支援をしている。</p>		
52	19	<p>○居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>季節の花の購入、設営を行なっている。毎月設営を季節感のある物にし、心地良い空間作りをしている。</p>	<p>共用空間は、換気や採光に配慮し、季節の花や手作り作品等が飾られ、行事ごとの写真も展示されている。畳の談話室や随所にソファが置いてあり、好きな場所で居心地よく過ごせるような工夫がされている。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>和室、ソファ、居室等自由に過ごすことができる空間があり、気の合った入居者同士や、個々で過ごして頂いている。</p>		
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもをを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>在宅で使用していた馴染みの家具や仏壇等を持ち込んで頂いている。家族との写真等を飾り、居心地の良く過ごして頂いている。</p>	<p>居室には、タンスや仏壇・装飾品等、使い慣れた物や好みの物が置いてある。必要な個所に工夫した手すりを取り付けられている。居室の入口は、名前の表札が掛けてあり、自分の家として過ごせる配慮がされている。</p>	
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>	<p>廊下、トイレには手すりが設置されており、見守り、一部介助の中、可能な限り自立した生活が送れるようにしてある。</p>		

V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)		1 ほぼ全ての利用者の
		○	2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1 毎日ある
			2 数日に1回程度ある
			3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らせている。 (参考項目：28)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)		1 ほぼ全ての家族と
		○	2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)		1 ほぼ毎日のように
		○	2 数日に1回程度ある
			3 たまに
			4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)		1 大いに増えている
		○	2 少しずつ増えている
			3 あまり増えていない
			4 全くいない
66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	○	1 ほぼ全ての職員が
			2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての家族等が
		○	2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない